

令和6(2024)年度 とちぎネットアンケート結果

第3回 「気候変動対策に関する意識調査」

1 調査目的

気候変動対策について、県民の認知度・意識等を把握し、今後の施策に反映させます。

(担当課:環境森林部 気候変動対策課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

788名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和6(2024)年5月28日～6月10日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

3 回答者属性

回答数 580名 (回答率73.6%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	238	41.0 %
女性	337	58.1 %
未回答	5	0.9 %
計	580	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	1	0.2 %
20代	17	2.9 %
30代	48	8.3 %
40代	152	26.2 %
50代	160	27.6 %
60代	135	23.3 %
70代以上	67	11.6 %
計	580	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	296	51.0 %
県南	168	29.0 %
県北	116	20.0 %
計	580	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

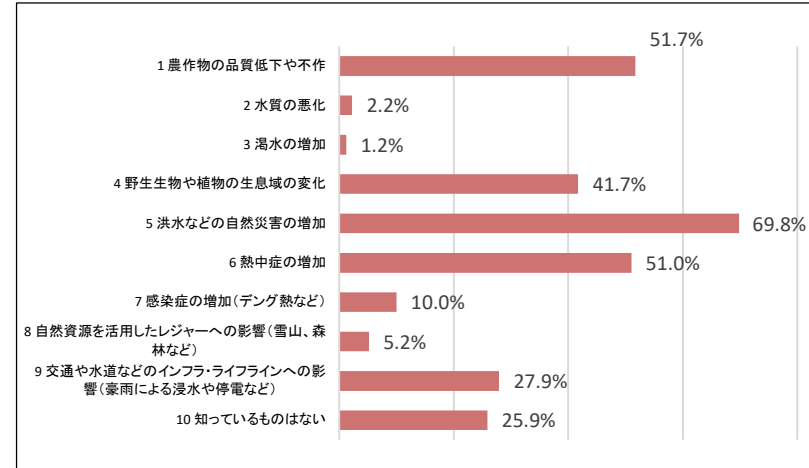
#### 4 調査結果

問1 あなたが強く感じている気候変動による影響は何ですか。

次の中から3つまで選んでください。

	構成比	回答数
1 農作物の品質低下や不作	51.7%	300
2 水質の悪化	2.2%	13
3 渇水の増加	1.2%	7
4 野生生物や植物の生息域の変化	41.7%	242
5 洪水などの自然災害の増加	69.8%	405
6 熱中症の増加	51.0%	296
7 感染症の増加(デング熱など)	10.0%	58
8 自然資源を活用したレジャーへの影響(雪山、森林など)	5.2%	30
9 交通や水道などのインフラ・ライフラインへの影響(豪雨による浸水や停電など)	27.9%	162
10 知っているものはない	25.9%	150

( n = 580 )



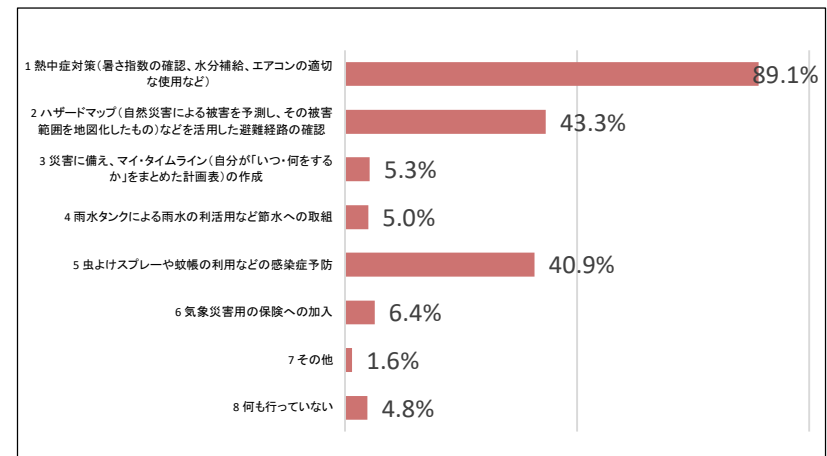
問2 あなたが気候変動による影響に対し、実践している適応策(※1)の取組は何ですか。

取組を行っている場合は、1～7から選択(複数回答可)し、何も行っていない場合は8のみ選択してください。

※1 適応策とは気候変動の影響による被害を回避・軽減する取組のことを言います。

	構成比	回答数
1 熱中症対策(暑さ指数の確認、水分補給、エアコンの適切な使用など)	89.1%	517
2 ハザードマップ(自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの)などを活用した避難経路の確認	43.3%	251
3 災害に備え、マイ・タイムライン(自分が「いつ・何をするか」をまとめた計画表)の作成	5.3%	31
4 雨水タンクによる雨水の利活用など節水への取組	5.0%	29
5 虫よけスプレーや蚊帳の利用などの感染症予防	40.9%	237
6 気象災害用の保険への加入	6.4%	37
7 その他	1.6%	9
8 何も行っていない	4.8%	28

( n = 580 )



#### 【その他の主な意見】

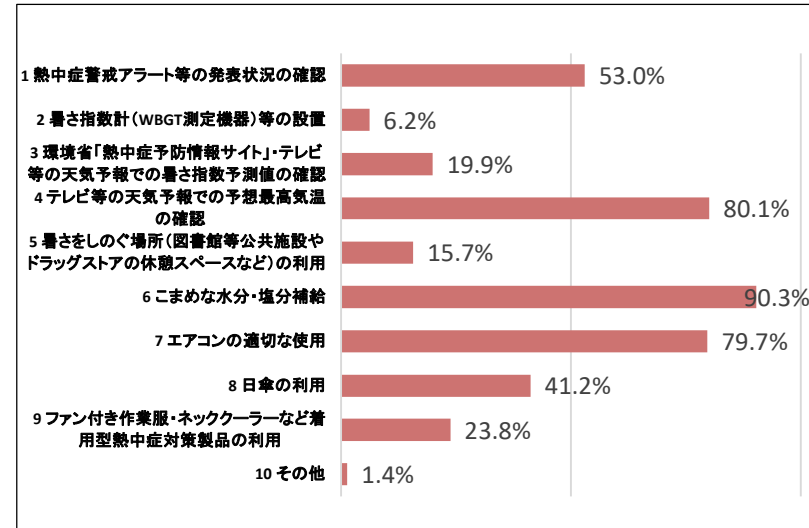
- ・発電機・非常用持ち出し袋の用意、食料等のストック
- ・庭になるべく植木を植え、コンクリートを避けて土の面積を確保し、雨水の吸収力を保つ

問3 (問2で選択肢1を選んだ方にお聞きします)

あなたが実践している熱中症対策は何ですか。(複数回答可)

	構成比	回答数
1 熱中症警戒アラート等の発表状況の確認	53.0%	274
2 暑さ指数計(WBGT測定機器)等の設置	6.2%	32
3 環境省「熱中症予防情報サイト」・テレビ等の天気予報での暑さ指数予測値の確認	19.9%	103
4 テレビ等の天気予報での予想最高気温の確認	80.1%	414
5 暑さをしのぐ場所(図書館等公共施設やドラッグストアの休憩スペースなど)の利用	15.7%	81
6 こまめな水分・塩分補給	90.3%	467
7 エアコンの適切な使用	79.7%	412
8 日傘の利用	41.2%	213
9 ファン付き作業服・ネッククーラーなど着用型熱中症対策製品の利用	23.8%	123
10 その他	1.4%	7

( n = 517 )



【その他の主な意見】

- ・健康を損なわない範囲で、汗をかき、暑さに体を慣らす。

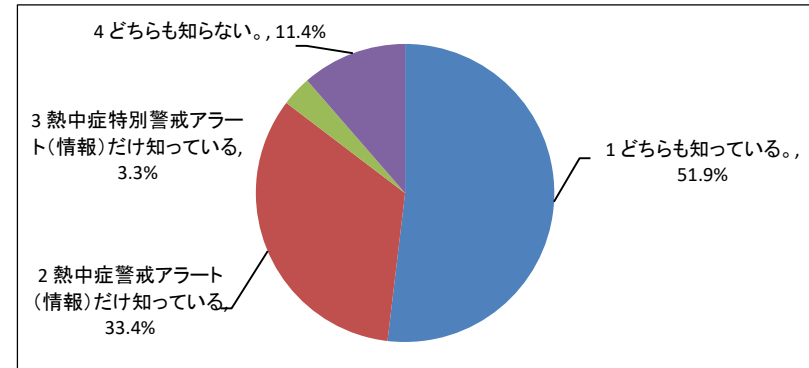
問4 あなたは熱中症警戒アラート(情報)・熱中症特別警戒アラート(情報)(※)を知っていますか。(1つ回答)

※熱中症警戒アラート(情報)とは、県内において、いずれかの暑さ指数情報提供地点における、翌日・当日の日最高暑さ指数(WBGT)が33(予測値)に達する場合に環境省から発表されるもの。

※熱中症特別警戒アラート(情報)とは、都道府県内において、全ての暑さ指数情報提供地点における、翌日の日最高暑さ指数(WBGT)が35(予測値)に達する場合等に環境省から発表されるもの。

	構成比	回答数
1 どちらも知っている。	51.9%	301
2 熱中症警戒アラート(情報)だけ知っている	33.4%	194
3 熱中症特別警戒アラート(情報)だけ知っている	3.3%	19
4 どちらも知らない。	11.4%	66

( n = 580 )

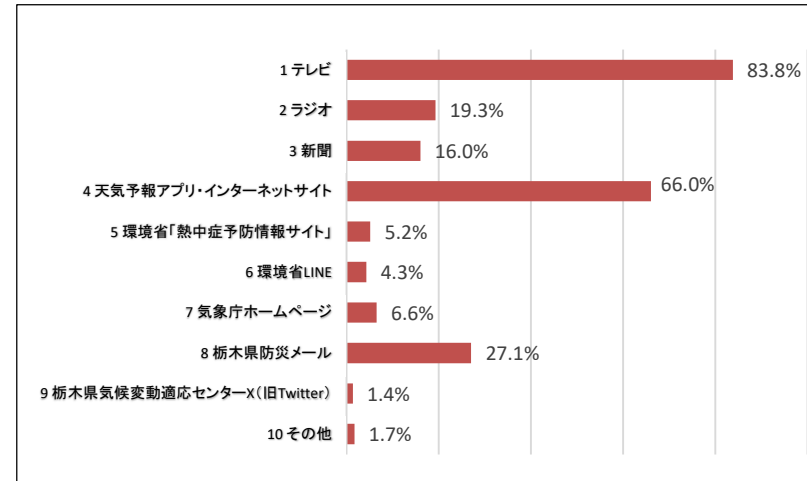


問5 あなたは、熱中症を注意喚起する情報をどの媒体から入手しますか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 テレビ	83.8%	486
2 ラジオ	19.3%	112
3 新聞	16.0%	93
4 天気予報アプリ・インターネットサイト	66.0%	383
5 環境省「熱中症予防情報サイト」	5.2%	30
6 環境省LINE	4.3%	25
7 気象庁ホームページ	6.6%	38
8 栃木県防災メール	27.1%	157
9 栃木県気候変動適応センターX(旧Twitter)	1.4%	8
10 その他	1.7%	10

( n = 580 )



【その他の主な意見】

- ・市や町からのメール、アプリ、SNS、防災無線
- ・職場の掲示物

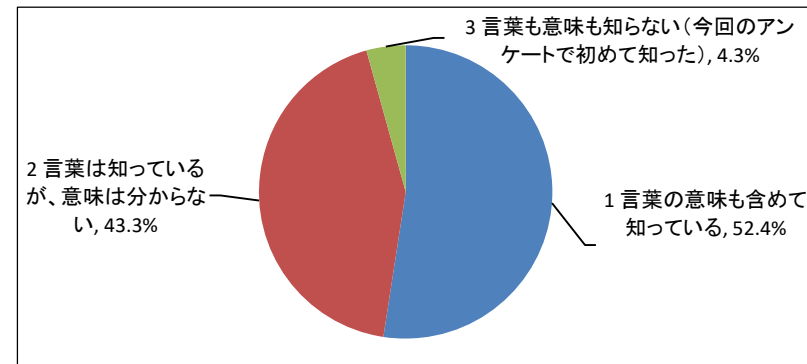
問6 あなたは、緩和策の長期的な目標である「カーボンニュートラル(※)」という言葉を知っていますか。

※ カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、温室効果ガス排出量を実質的にゼロにする考え方。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 言葉の意味も含めて知っている	52.4%	304
2 言葉は知っているが、意味は分からない	43.3%	251
3 言葉も意味も知らない(今回のアンケートで初めて知った)	4.3%	25

( n = 580 )



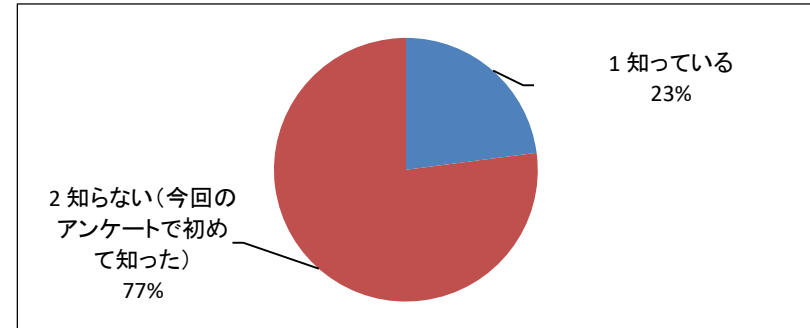
問7 あなたは、栃木県が「とちぎ2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ(行程表)」において

2030年度までに温室効果ガス50%削減という目標を定めていることを知っていますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 知っている	22.9%	133
2 知らない(今回のアンケートで初めて知った)	77.1%	447

( n = 580 )

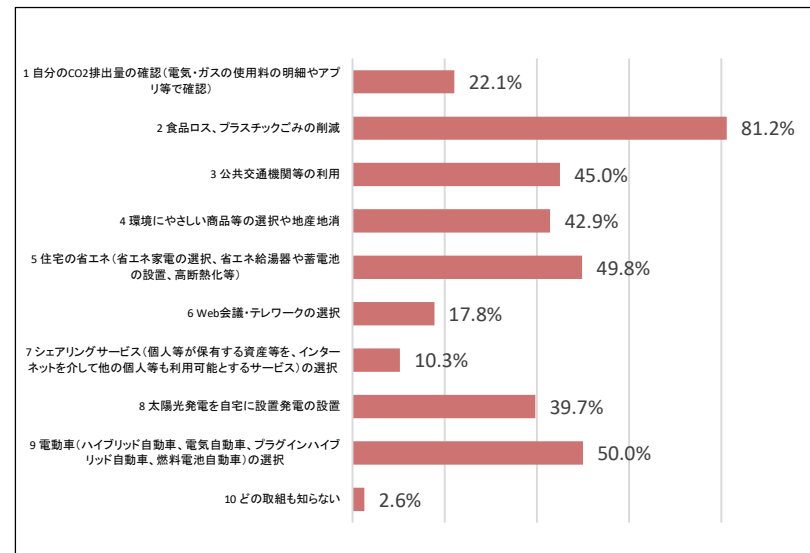


問8 「温室効果ガス排出量削減のための取組」として、あなたが知っている取組は何ですか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 自分のCO <sub>2</sub> 排出量の確認(電気・ガスの使用料の明細やアプリ等で確認)	22.1%	128
2 食品ロス、プラスチックごみの削減	81.2%	471
3 公共交通機関等の利用	45.0%	261
4 環境にやさしい商品等の選択や地産地消	42.9%	249
5 住宅の省エネ(省エネ家電の選択、省エネ給湯器や蓄電池の設置、高断熱化等)	49.8%	289
6 Web会議・テレワークの選択	17.8%	103
7 シェアリングサービス(個人等が保有する資産等を、インターネットを介して他の個人等も利用可能とするサービス)の選択	10.3%	60
8 太陽光発電を自宅に設置発電の設置	39.7%	230
9 電動車(ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車)の選択	50.0%	290
10 どの取組も知らない	2.6%	15

( n = 580 )

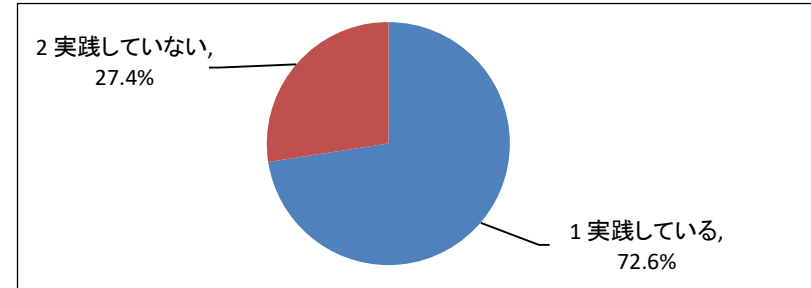


問9 あなたは「温室効果ガス排出量削減のための取組」を実践していますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 実践している	72.6%	421
2 実践していない	27.4%	159

( n = 580 )



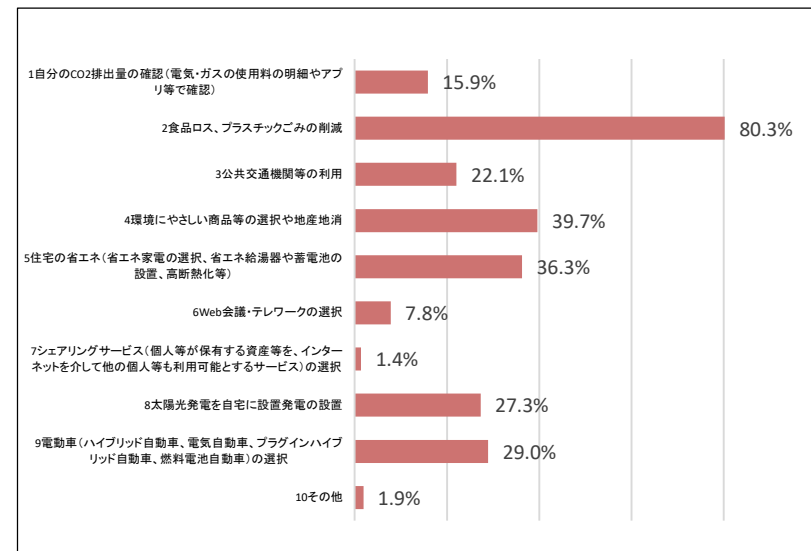
問10 (問9で選択肢1を選んだ方にお聞きします)

あなたが実践している「温室効果ガス排出量削減のための取組」を次の中から選んでください。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 自分のCO <sub>2</sub> 排出量の確認(電気・ガスの使用料の明細やアプリ等で確認)	15.9%	67
2 食品ロス、プラスチックごみの削減	80.3%	338
3 公共交通機関等の利用	22.1%	93
4 環境にやさしい商品等の選択や地産地消	39.7%	167
5 住宅の省エネ(省エネ家電の選択、省エネ給湯器や蓄電池の設置、高断熱化等)	36.3%	153
6 Web会議・テレワークの選択	7.8%	33
7 シェアリングサービス(個人等が保有する資産等を、インターネットを介して他の個人等も利用可能とするサービス)の選択	1.4%	6
8 太陽光発電を自宅に設置発電の設置	27.3%	115
9 電動車(ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車)の選択	29.0%	122
10 その他	1.9%	8

( n = 421 )



【その他の主な意見】

- ・植物を育てる
- ・自転車や徒歩での移動